

〈本体商品の取付情報〉

年式	型式	車種	取付商品のサイズ	本体の取付方法			注意事項	オプション ※商品別の対応状況他の詳細については、必ず取扱・取付説明書や弊社カタログ、ホームページ等でご確認ください。 ※表示価格は希望小売価格(税別)です。
				取付キット類				
				純正部品手配	型番	主な付属品		
H28/6～現在	LA700V系 LA710V系	全車種	8型		KLS-D802D <sup>Ⓚ</sup>	P 注4	20,000円	
		オーディオレス車 ・インテグレートCD・AM/FMラジオ付車	W2D		KJ-D201DK <sup>Ⓣ</sup>	注5	6,000円	注6,7,15
		M.OPのナビ付車 注1,2	2D		KJ-D81D <sup>Ⓣ</sup>	P 注8	4,500円	注7,9
		D.OPのナビ/ オーディオ付車 注3	W2D		RD-Y101DK	HFC 注10	5,000円	注7,11,12 13,16
			2D		KJ-D81D <sup>Ⓣ</sup>	P 注8	4,500円	注7,9

- (注1) オーディオレス車(ワイド2D窓口で純正ブラケットなし)、インテグレートCD・AM/FMラジオ付車、H28/6～H29/11車にメーカーオプション設定のスマートフォン連携メモリーナビゲーションシステム付車の場合、取付けにはブラケットを同梱している取付キットを使用します。
- (注2) H28/6～H29/11車にメーカーオプション設定のスマートフォン連携メモリーナビゲーションシステム付車の場合、取付けに使用している純正ブラケットを使用すると、ステレオ本体の肩部がクラスター窓口裏側のリブに当たってリブの切取加工が必要となるため、純正ブラケットの使用は推奨しません(なお、インテグレートCD・AM/FMラジオ付車の純正ブラケットは未確認です)。
- (注3) H29/11に追加設定されたディーラーオプションの8インチスタンダードメモリーナビ付車は除きます(8インチスタンダードメモリーナビ付車は、窓口が異形でスイッチが一体の専用パネルを使用しているため取付不可)。
- (注4) KLS-D802D<sup>Ⓚ</sup>は8V型カーナビゲーションを取付けるための車種専用の取付キットです。専用パネル(シルバー)、専用ブラケットの他、ダイレクト接続コネクタ(10P/6P/5P)、ネジ類等が同梱されています。
- (注5) KJ-D201DK<sup>Ⓣ</sup>にはブラケット、ダイレクト接続コネクタ(10P/6P/5P)、ネジ類等が同梱されています。
- (注6) 電源ケーブルを同梱しているモデル(AVIC-CW910/RW910等)の場合、KJ-D81D<sup>Ⓣ</sup>の使用も可能です。
- (注7) ステレオ本体が下寄りに付く場合は、窓口の中心となるようなるべく上寄りに取付けてください。
- (注8) KJ-D81D<sup>Ⓣ</sup>にはブラケット、パネル(L、R)、配線コネクタ(10P/6P)、車速信号号を取出すためのコネクタ(5P)、ネジ類等が同梱されています。
- (注9) FH-4600/3100等を取付ける場合、商品に同梱のワイド2D窓口専用パネルを使用して取付けることも可能です。その場合は取付キットに同梱のパネル(L、R)は使用しません。
- (注10) RD-Y101DKにはダイレクト接続コネクタ(10P/6P/5P)、アンテナ変換コネクタ(HFC)、ステアリングリモコンケーブル(20P)が同梱されています。
- (注11) 取付キットに同梱のアンテナ変換コネクタ(HFC)、ステアリングリモコンケーブル(20P)は使用しません。また、取付キットRD-Y102DK(希望小売価格5,000円、税別)に同梱のダイレクト接続コネクタ(10P/6P/5P)も同様に使用が可能です。
- (注12) 電源ケーブルを同梱しているモデル(AVIC-CW910/RW910等)の場合、取付キットKK-Y45D II<sup>Ⓚ</sup>(希望小売価格3,000円、税別)が使用可能です。なお、取付キットに同梱のパネル(L、R)は使用しません。
- (注13) 純正ブラケットのステレオ取付用の穴は長穴になっており、ステレオ本体が最も奥寄りの位置となるように取付けます(ステレオ本体を手前寄りに取付けると、クラスター窓口裏側のリブに当たります)。
- (注14) メーカーオプションの純正ナビ装着用アップグレードバック付車、およびナビバック付車(H28/6～H29/11車に設定)の場合、純正バックカメラ配線にはそのままでは接続できません。別売の純正バックカメラ接続アダプターKK-D301BA<sup>Ⓚ</sup>(希望小売価格7,000円、税別)ではRCA端子で、別売の純正バックカメラコネクタ変換ケーブルRD-D201BC(希望小売価格4,500円、税別)ではサイバーナビの2019年モデル(AVIC-CL910等)および楽ナビの2019年モデル(AVIC-RL910等)に接続できる端子形状で、RD-D101BC(希望小売価格4,500円、税別)ではサイバーナビの2018年/2017年/2016年モデル(AVIC-CL902等)に接続できる端子形状で、純正バックカメラの映像を出力することが可能となります。
- (注15) ダイレクト接続コネクタ類を同梱しているモデル(AVIC-ZH0999WS/ZH0999W/ZH0777W/ZH0099WH/ZH0099WS/ZH0099W/ZH0077W/RW09/RW03/MRZ099W)の場合、取付キットは同梱のブラケットのみの使用となりますので、KJ-D201DK<sup>Ⓣ</sup>の代わりに、KJ-D81D<sup>Ⓣ</sup>の使用を推奨します。
- (注16) ダイレクト接続コネクタ類を同梱しているモデル(AVIC-ZH0999WS/ZH0999W/ZH0777W/ZH0099WH/ZH0099WS/ZH0099W/ZH0077W/RW09/RW03/MRZ099W)の場合、RD-Y101DKは不要です。

〔取付キット類の主な付属品の記号〕

	ダイレクト接続コネクタ		アンテナ変換コネクタ(HFC)
	配線コネクタ (3電源、フロントスピーカー、リアスピーカー)		アンテナ変換コネクタ(GT)
	配線コネクタ (3電源、フロントスピーカー)		アンテナ変換コネクタ(CE)
	専用パネル、または窓口左右の隙間を埋めるパネル		ステアリングリモコンケーブル、またはステアリングリモコン用ミニプラグ

〔オプションの記号〕

	オプション欄にこの記号がある場合は、別売のステアリングリモコンアダプター、または別売のステアリングリモコンケーブルを使用することにより、車両側のステアリングリモコン用配線との接続が可能であることを表します。
--	---

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報(PDF)の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。

〈スピーカー商品の取付情報〉

タイプ	取付場所	注記 A	カスタムフィット								注記 B	ボックスタイプ						ユニットタイプ						サテライト														
			TS-V173S	TS-C1730S C1730 F1740S F1740	TS-C1630S C1630 F1640S F1640	TS-F1040S F1040								TS-X480G	TS-X180	TS-A6970F	TS-A1670F	TS-A1370F	TS-G1010F			TS-STH1100	TS-STH700	TS-STX510														
5ドア	Fドア		×	×	◎①	×																																
	インナーパッフル	②③	×	×	回																															○リアビ ラー部 トリム	○リアビ ラー部 トリム	○リアビ ラー部 トリム
	荷室側面	④	×	×	×	×																																

注記

※H28/6～現在車のスペアタイヤ部には「TS-WX610A」の取付けが可能です（注⑤参照）。

- 取付ネジ穴位置が端寄りになるため、平座金を使用して取付けます。
- インナーパッフルUD-K619（希望小売価格9,000円、税別、2個1組）の使用が可。
- パッフルを鉄板穴内に挿入する際、ドアガラスが下がった状態ではガラスに当たって挿入しにくいいため、ガラスを上げた状態で行います。
- 荷室側面のサイドトリムにはスピーカーグリルもあり、スピーカーを鉄板に固定することは可能です。但し、車両側にリアスピーカー用配線がないため推奨はしません。
- スペアタイヤを反転して取付けます。但し、車両側にパイプフレームがあり、取付ボルトを先に取付けるとスピーカー本体が挿入できないため、スピーカー本体を先に設置してから取付ボルトを取付ける必要があります、作業は多少やりにくくなります。取付けに使用する付属品：①、③、④、⑤×3、⑥、⑪、⑬、⑭、⑮、⑰～⑳。

〔カスタムフィットスピーカーの記号〕

◎	取付可（スピーカーに付属のコネクター使用）	⊕	取付可（別売の配線コードでの配線が必要）
◇	取付可（スピーカーに付属のブラケット等使用）	☒	取付可（別売の「スピーカー取付キット」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
□	取付可（別売の「スピーカー取付キット」使用）	☒	取付可（別売の「インナーパッフル」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
回	取付可（別売の「インナーパッフル」使用）	×	取付不可
⊙	取付可（配線加工が必要）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明
◆	取付可（スピーカーに付属のブラケット等を使用し、配線加工が必要）		

〔ボックスタイプ/ユニットタイプスピーカーの記号〕

◎	取付可	▲	取付可（別売の「スペーサー」使用で、鉄板加工が必要）
●	取付可（鉄板加工が必要）	×	取付不可
△	取付可（別売の「スペーサー」使用）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

〔サテライトスピーカーの記号〕

○	取付可	(×)	取付不可（サードシート未使用時に限り取付可）
		×	取付不可
△	条件付きで取付可（注記参照）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報(PDF)の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。